今さら聞けない
PC・スマートフォン　Q＆A

～業務での活用、危険性～

平成25年1月17日（木）

株式会社トラステック　ウェルフェア事業部　　片桐　清毅

スマートフォンって？

スマートフォン（スマホ）。利用する人がアプリケーション（アプリ）をインストールできる携帯電話。

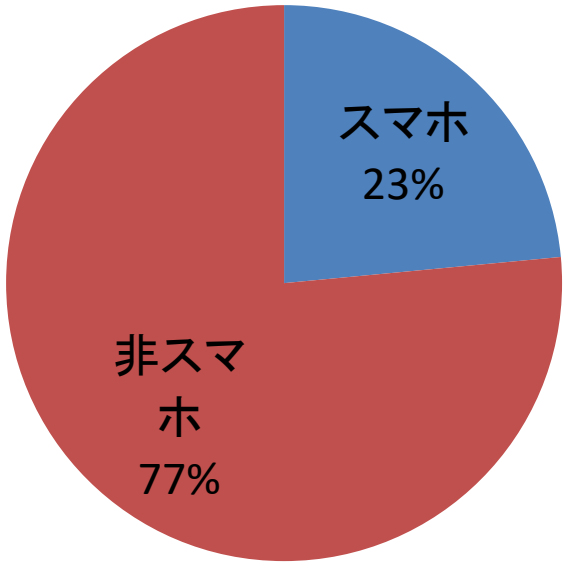
基本的はパソコン。電話もアプリで動かしている。

スマホの特徴
・タッチパネルで操作
・インターネット接続が簡単
・アプリの数が多い（世界中から選べる）

スマホの発展形
・スマホがこれからの情報端末のひな型となっている
　タブレット（iPadもiPhoneの仕様を引き継いでいる）
・画面の大きさ
　スマホ 4～5　タブレット 7、10　インチ

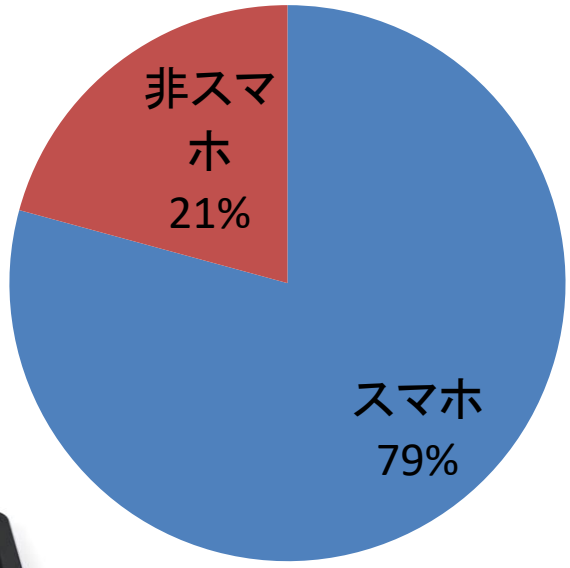
スマホ率

普及率



2012年6月　コムスコアジャパン調べ

出荷率



2012年7月～9月　IDC JAPAN 調べ

スマホの種類と特徴

ios(iPhone)

アイフォン

アップル社

単独で開発・製造・管理

Android os

アンドロイド

Google グーグル社

無償で提供

様々なメーカーが参入

ios（iPhone）の特徴

・OSのバージョンアップが保障されている
　１社単独で運営・管理しているため、定期的にOSのバージョンアップが保障されている等、サポート体制が魅力
・直感的に使える操作性
　一貫した規律の中でアプリ等の開発・提供しているので、操作していてムラが少なく、操作性が優れている
・一定の品質や安全性が保障されたアプリが揃っている
　　基準に合格したアプリでなければ「app　Store」に登録されない

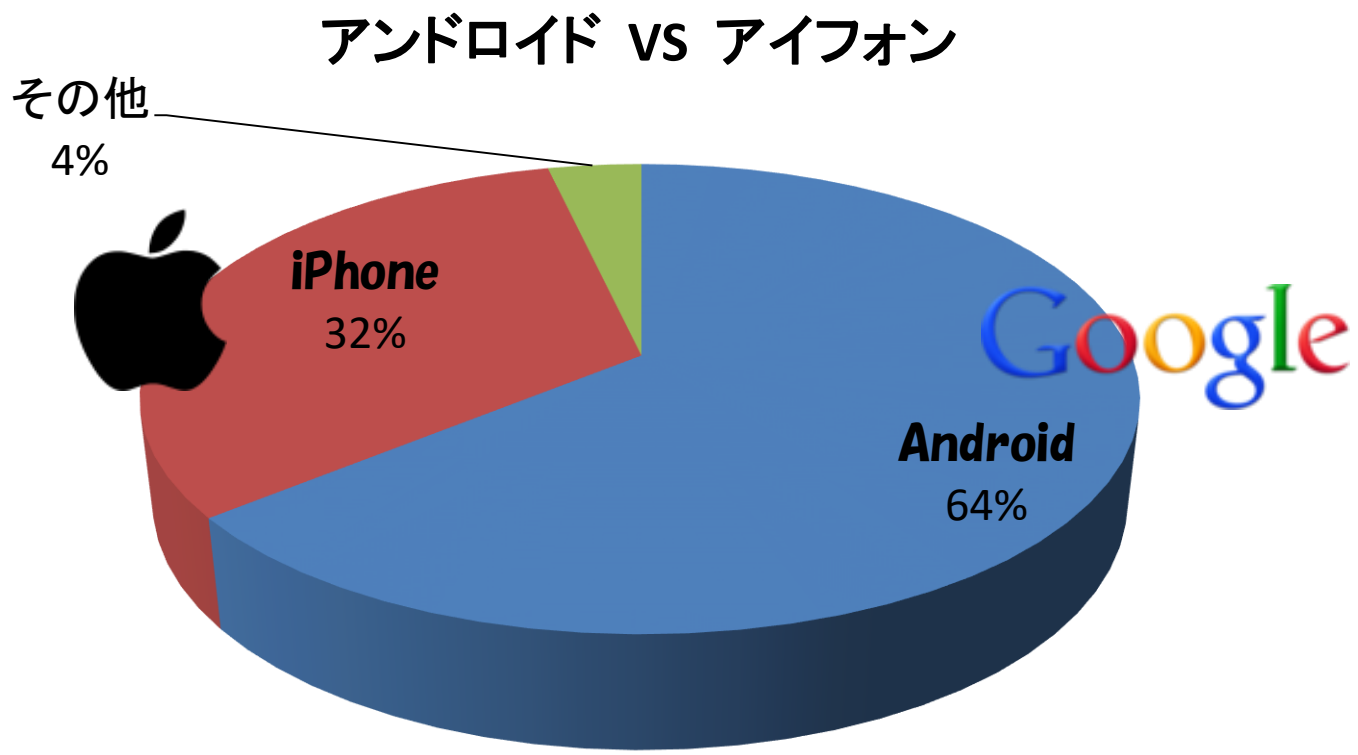
・単一の機種しかないため、比較検討ができない
・アプリの入手経路が限られている
　app　storeでしか入手できない
・従来の携帯が持っていた機能が使えない
　「おサイフケータイ」「赤外線通信」「防水ケイタイ」

Android osの特徴

・豊富な機種の中から選択できる「デザイン」「カラー」「メーカー」
・画面のカスタマイズ性に優れている
・全てのキャリアから機種が提供されている
・従来の携帯の機能が使える機種がある
　「おサイフケータイ」「赤外線通信」「防水ケイタイ」「ワンセグ」
・自由度の高いアプリを利用できる
　アンドロイドマーケット　又は　各キャリア等が運営するマーケット

・セキュリティ（安全性）の問題
　自由度が高いため悪意のあるアプリが混在する可能性が低くない
　ウイルス対策が大事
・サポート体制の問題
　OSのバージョンアップなど各メーカーによってサポート体制にバラつきがある
・操作性の問題
　機種によって、機能は充実しているが使いこなしにくいと感じる事がある

OSシェア



2012年6月　コムスコアジャパン調べ

スマホで出来ること

〇簡単にインターネット（PCと同様にフルブラウザ・広範囲・速度が安定）
・動画再生・音声入力でWeb検索・クラウド（ネット）上でデータを共有
・FacebookやLine・Twitter等のSNSが手軽にできる

〇携帯で使用していたメールの他、様々なメールが使える

〇マルチメディアプレーヤーとして使える
映像・写真・音楽の再生

〇電子書籍として持ち歩いたり、電子辞書として使える

〇PDFやExcel・Word等のファイルを閲覧できる

これはほんの一部。デジカメやゲーム・お財布携帯等、各機能に対応したアプリを追加インストールする。

スマホの危険

特性から見る脅威と対策　－　１

特性	従来の携帯	スマホ	PC
携帯性	◎	◎	△
ネットワーク接続	○	◎	△
機能性・処理能力	△	○	◎
拡張性	×	○	◎
柔軟性	×	◎	◎

スマホの危険

特性から見る脅威と対策　－　２

脅威	リスク	対策
盗難・紛失	本体に保管された情報の漏洩	デバイスロックを設定 ロック解除失敗時に強制的にデータ削除 ID・パスワード等の非保存設定
落下・水没・故障	データ消失	定期的なバックアップ 落下防止用ストラップ装着等
SIMカード盗難	電話番号・個体識別番号の悪用	通信事業者に連絡し回線利用停止
信頼できないアプリ	マルウェアの感染	信頼できるマーケットから入手
利用者による改造	マルウェアの感染	改造の禁止

スマホの危険

利用シーンから見る脅威と対策　－　1

脅威	リスク	対策
1．個人情報となるアドレス帳（デバイス、外部記録媒体、外部サービス）		
誤操作・知識不足	意図しない場所にデータを保存し情報が漏洩	アプリの動きを確認し保存場所を決める
2．電話を利用する（VoIP）		
盗聴・不正アクセス	通話内容の盗聴 不正侵入	VoIPによる通話禁止（特にWi－Fi）
3．メールを利用		
誤操作・知識不足	情報紛失、漏洩	ファイル添付を制限 本体にデータを保存しない
4．ネットワークに接続		
テザリング（Wi－Fiルータ）	第三者による不正利用	パスワードを複雑にする テザリング機能を使用しない

スマホの危険

利用シーンから見る脅威と対策　－　２

脅威	リスク	対策
５．公衆Wi－Fi		
盗聴・不正アクセス	偽装されたアクセスポイント接続によりパスワード等が盗まれる	信用できるアクセスポイントを使用
６．アプリ		
マルウェア	情報漏洩 加害者化する	信頼できるマーケットから入手
７．データの可搬媒体としての利用（大容量のUSBストレージ）		
盗難・紛失・故障	データ消失・情報漏洩（携帯性が高いため）	代替手段を用意し可搬媒体として使用しない
８．バックアップ		
誤操作・知識不足	意図せずデータ上書きや消失	アプリの動きを確認し保存場所を決める

スマホの危険

利用シーンから見る脅威と対策　－　３

その他	
スケジュール	公開範囲を誤って指定
ブラウズ（Web閲覧）	表示エリアが小さいため不正URLに誤ってアクセス
カメラ・マイク	利用可能エリアで利用し、データ取り扱いに注意

破棄（デバイスの回収、変更、使い回し）

利用データの消去、本体設定情報の消去、アプリの削除、外部サービス・認証情報を含むキャッシュの消去

BYOD（Bring　Your　Own　Device）

個人用と業務用のデータを分ける、退職時のデータ消去等、組織のルールを整備する必要がある

スマホの危険

これまでのセキュリティとの相違

スマートフォンは黎明期であり、まだまだ機能やセキュリティー実装面における標準化が進んでない状況と考えられます。
また、スマートフォン使い方（ネットワークアクセス時、システムやサービスのアクセス時、データの置き場所、管理面など）様々な側面からの対策を組み合わせる必要性が高いといえます。

スマホを有効的に使う

スマートフォンは、他の機器と比較して、携帯性に優れている、常に電源がONになっている、常時ネットワークに接続されているなど、コミュニケーションツールとして優れています。

ビジネスでは、外出先でのWebサイトの閲覧やメール、スケジュールの利用頻度が高くなっています。ネットワーク接続したノートPCでも可能でしたがその利便性とスピードを考えた際、スマートフォンは圧倒的な効果を生みます。

代表的活用例

コミュニケーションの活性化と業務の効率化

外出時などの移動時間や待ち時間などに、簡単にメール対応できれば、よりタイムリーなコミュニケーションを実現できるだけでなく、隙間時間を利用した大きな業務効率向上が望めます。その結果、事務所に戻った後の電子メール処理時間を、大幅に削除することが可能

ペーパーレスによるコスト削減と業務効率化

パンフレット、マニュアルなどを紙で印刷することが定常化していますが、その改訂頻度によっては、大きな業務増加やコスト負担を強いています。さらに配布時も、紙媒体を持ち歩く負担や、必要に迫られた際に短時間で該当文章を探す手間もあります。このような課題は紙を電子化し、閲覧・検索媒体としてスマホを活用することで大幅に改善されます。

外出時の移動効率

外出時の利便性向上としては、地図および位置情報の利用も効果的です。事前に行き先を調べて印刷する必要がなくなります。

さあ、スマートフォンしましょう！

トラステックでは、
営業社員を中心にスマホ（iPhone）が支給されています。

SNSの利用
業務システムでの利用
全社員のスケジュール
訪問（地図）

株式会社 トラステック

スマートフォンが、これからの生活やビジネスに不可欠になることは間違いありません。

参照：スマートフォン＆タブレットの業務利用に関するセキュリティガイドライン（日本スマートフォンセキュリティフォーラム（JSSEC）利用部会ガイドラインワーキンググループ